

令和 4 年 7 月 6 日
堺市上下水道局

第 1 回懇話会意見への対応
(令和 4 年度 上下水道事業懇話会)

意見①

委員名	畑山委員	該当ページ	P.55-57
区 分	計画評価	関 連 資 料	－
意 見			
<p>「震災に強いまちの実現」について、進捗に遅れがあった「配水池の耐震化」に重点をおき、施策評価を「B」としているが、計画以上の進捗があった管路の耐震化事業についても適切に評価すべき。</p>			
対応方針			
<p>「優先耐震化路線の構築」が計画値以上に進捗したことを評価しつつも、家原寺配水池更新工事の進捗の遅れは今後の事業の進捗に影響する要素が大きいと判断し、全体の施策評価を「B」とした。</p>			

意見②

委員名	川原委員	該当ページ	－
区 分	計画評価	関 連 資 料	経営診断書 P.97-98
意 見			
<p>単年の評価を行うにあたり、前年度比較のみでは、その要因が短期的要因か、長期的要因か等、どういったトレンドの中にあるのか判断ができない。</p> <p>また、文章のみの評価では、その評価が本当に妥当なのか判断できない。</p>			
対応方針			
<p>経営診断書 P.97-98 に、各指標におけるビジョンの最終目標と進捗状況を掲載しており、ビジョン（中期計画）に対して令和 3 年度実績がどのような進捗状況にあるかを記載している。</p> <p>令和 5 年からの新たなビジョン作成にあたり、より要因分析が行いやすい仕組や評価指標の設定についても検討していく。</p>			

意見③

委員名	北詰委員	該当ページ	－
区分	計画評価・経営分析	関連資料	－
意見			
<p>4つの指標を持って収益性、安定性、効率性、料金の4つの区分の中で、バランスよく運営していただきたい。</p> <p>その中で、各評価に計画指標等との関連性が記述されているが、より、経営分析と計画評価の関連性を強化していただきたい。</p>			
対応方針			
<p>ご指摘のとおり、経営分析の各項に、計画評価指標との関連性についても触れているが、単年度の経営分析のみではその連動性が見えにくい状況にある。</p> <p>令和5年からの新たなビジョンにおいては、コスト管理として、施策ごとの投資額と予算・決算額の比較に加え、計画評価との連動についても検討していく。</p>			

意見④

委員名	川原委員	該当ページ	－
区分	経営分析	関連資料	経営診断書 P.7・11 補足説明資料（1）
意見			
<p>事業の特質を踏まえた分析など、全体を統括するような分析がもう少しあれば、より理解しやすいと思われる。</p> <p>具体的には、内部環境としてのストック資産の状況や今後の更新投資、外部環境として料金収入の推移など、将来的な見通しについても触れていただきたい。</p>			
対応方針			
<p>経営診断書 P.7（水道事業）、P.11（下水道事業）に、それぞれ内部環境、及び外部環境の令和3年度の状況と、将来的な見通しについて追記した。</p> <p>現在、令和5年度からの新たなビジョンへの移行に向けた過渡期であるため、今後の動向の詳細については、新たなビジョンの策定の中でお示ししていく。</p>			

意見⑤

委員名	川原委員	該当ページ	－
区分	経営分析	関連資料	補足説明資料（１）
意見			
<p>第１回懇話会において、原価内訳についてお示しいただいたが、重要な情報であると思われるため、経営診断書に記載していただきたい。</p>			
対応方針			
<p>原価内訳について、経営診断書 P.25（水道事業）、P.37（下水道事業）に追記する。</p>			

意見⑥

委員名	川原委員	該当ページ	－
区分	経営分析	関連資料	補足説明資料（２）
意見			
<p>雨水整備について今後費用がかかっていくということに経営リスクを感じていると思われるが、もう少し具体的に分かりやすくお示しいただきたい。</p> <p>将来の予測の中で経営リスクをどのように考えておられるか、総括的にご説明いただきたい。</p>			
対応方針			
<p>別途資料（補足説明資料（２））により、雨水事業の経営状況についてご説明する。</p>			